

## マルチメディアやネットワークが注目されてきた背景

### 出発点は・・・

情報スーパーハイウェイ構想：NII(National Information Infrastructure)  
(戦略的な構想)

- 93.2 NII 構想発表
- 93.3 NII 行動アジェンダ発表
- 93.12 ゴア副大統領演説
- 94.1 "
- 95.5 GII(Global Information Infrastructure)を各国へ提案

### NII 行動アジェンダ (草案)

民間投資の促進  
「ユニバーサルサービス」概念の拡大  
新規アプリケーション促進  
シームレス双方向型、ユーザ主導型運用促進  
情報の安全性とネットワークセキュリティの確保  
周波数管理の改善  
知的所有権の保護  
州や外国の障壁排除  
政府情報へのアクセス拡大

### アメリカ・ゴア副大統領の演説内容

#### 目標

2000年までにすべての学校、図書館、病院等を結び教育・医療の高度化を促進する  
今年(2004年)は2004年。すでに結果は明らか?

アメリカ社会の**すべてのメンバー間で双方向の通信が可能なネットワークを構築**する。  
(これが、インフォメーション・スーパーハイウェイの最終目標)

### 「ハイウェイ」のメタファ

1956年から76年にかけて20年間に連邦政府は1090億ドルをかけて全米を横断する  
ハイウェイ網を建設した  
州間高速道路網(inter states),フリー(無料)ウェイ (アイゼンハワー大統領)

インターネット版ハイウェイ => 情報スーパーハイウェイ

### インターネットとの関係

#### インフォメーション・スーパーハイウェイ

##### データスーパーハイウェイの建設

- ・官民の協力の下に新しく構築
- ・電話・コンピュータネットワーク・インタラクティブTVの統合し、  
「融合的に提供する提供する強力なデジタルネットワーク」

#### ナショナル・インフォメーション・インフラストラクチャ(NII)

政府の役割の封じ込め(民間主導での構築のガイド、ないしは側面からの援助)  
全体像がわからない(確定しない)ままだイメージ全体がふくらみすぎた

勝てる形で勝負する      新しく光ファイバーを引くよりインターネットを使う

「夢」と「夢の始まり」

## そこに「インターネット」があった

既存のインターネットをベースにしたネットワークシステムが注目  
インターネットの(爆発的な)普及  
現在に至る

## こうした「情報ハイウェイ」を構築しようとした背景

1990年代初頭のさまざまな事情・・・

- ・ **軍需ハイテク構造不況**  
1989年の冷戦の終結によりアメリカの経済を支えてきた軍需産業をベースとするハイテク企業の不況
- ・ **ダウンサイジング不況**
- ・ **対外政策**
  - ・ ソ連の崩壊
  - ・ いわゆる双子の赤字(財政・貿易)
  - ・ **強くなりすぎた日本**

→ こうした時期に「クリントン・ゴア政権」が登場

大恐慌の時はTVA, → 公共投資の増額 でよかったのだが...  
21世紀のリーディングインダストリとなるものでなければならない。

(  
日本には負けたくない(日本に先を越される！)  
その頃(1990年) NTTの全国に光ファイバーを敷設する計画  
VI&P (Visual Intelligent & Personal) 計画  
~ 2015年  
)

全米に高速ネットワークの増設  
「**ネットワークビジネスを開拓**することによって、このハイテク不況を乗り切る」

## 一方日本では...

結局・・・

政策上は10年?以上の遅れ  
各種の規制の問題  
今なおバブルの後遺症に苦しむ

いつまでも(今でも) 道路を整備したり、上下水道を整備  
その波及効果から景気浮上をはかってもだめ  
IT 道路???

アメリカのような景気回復が可能なのか???

## 問)

日本の景気回復には... どのような方法、どのようなものが考えられるのか?  
日本の強みとは何か?